平成 24 年度　事務事業事後評価調書（平成　23　年度事業）

整理番号	11	ー	51

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	給食センター調理業務委託事業					
評価者	担当課名		教育振興課	担当係名		学校給食係
	管理職	職名	給食センター所長	作成者	職名	技師補
		氏名	横田和幸		氏名	柳生幸子
事業の概要	給食センター調理業務について、民間委託を実施する。					

全体計画（平成 20 年度～ 24 年度）		
事業費	国・道支出金	千円
	地方債	千円
	その他	千円
	一般財源	68,784 千円
	事業費計	68,784 千円

実施方法	□	直営	■	民間委託	□	その他（　　）	
第５期総合計画（前期）	■	登載事業	□	非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～				
	基本施策	12	学校教育の充実				
	単位施策	2	小中学校の教育環境の充実				
	事務事業の種類	■	自治事務	□	法定受託事務		
	その他計画・根拠等						

事業費	実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額（一般財源）	13,772 千円	13,734 千円	13,734 千円	13,734 千円	13,734 千円
	合計	13,772 千円	13,734 千円	13,734 千円	13,734 千円	13,734 千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	町内小中学校児童生徒及び教職員等	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	調理員の確保とコスト削減が課題となっている。	衛生面で安定した給食供給の維持		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	調理業務の民間委託による調理員の確保により、調理の迅速化を図るとともに、民間のノウハウを生かした給食内容の充実を図る。	① 正規調理員の数	目標年度	平成23年度
			目標値	5 人
			実績値	5 人
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的	民間委託により、民間のノウハウや専門性、柔軟性を取り入れた衛生面の充実及び給食の質の向上を図り、安定した給食の提供を実現する。	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%

内容（どのような手段で何を行ったか）	
給食の調理業務を民間業者に委託	町外調理会社との委託契約により、調理業務を遂行した。

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	栄養計画やそれに伴うレシピ作成については、教育的配慮から行政が責任をもって行う必要があるが、調理部門については信頼できる民間に委託することにより、調理員の衛生管理や分業において有利であり、コストの削減につながるため必要である。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	調理業務を民間委託したことにより、民間のノウハウや専門性、柔軟性を取り入れた衛生管理の充実及び給食の質の向上が図られ、安定した給食の提供を実施した。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 ■事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 □その他	長期継続契約による安定した委託コストによる業務遂行が図られ、効率性が保たれた。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	町内小・中学校の全児童生徒に対し、安定した給食の提供を行うための調理業務の民間委託であり公平性は保たれている。

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
調理業務の民間委託による安定した給食の提供実現のため、計画どおりの事業を達成した。		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
今後の児童生徒数の推移により事業規模等に変動も予想されるが、安定的でコストの安い給食の提供を実現するためには、調理業務を民間委託することが重要であり、本事業を継続して実施することが必要である。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）